

特別委員会からの報告

特定の重要な事項を集中的に話し合うため、以下の3委員会が設置され、2月定例会で調査報告を行いました。
※各特別委員会の調査報告書(まとめ)は各QRコードからご覧になれます。

長崎駅周辺整備・交通 結節対策特別委員会



◎長崎駅周辺がより一層長崎市の魅力につながるよう、各種施策に取り組みことを要望
市民や観光客に望まれる長崎駅周辺地区のまちの姿の実現に向けた諸方策について調査を行いました。

主な結果として、長崎駅について、JR長崎駅の移転により東口利用者のバスや路面電車への乗換えに係る移動距離が長くなったため、動く歩道の設置を再検討するよう要望しました。また、JR浦上駅のトイレが改札内のみであるため、駅前の空きスペースへの設置を再度検討するよう要望しました。

次に、路面電車について、出島から長崎みなとメディカルセンター間の三方分岐や国道499号上の短絡軌道の設置、松が枝方面への延伸について、引き続き交通事業者と協議し、本市も積極的に取り組むよう要望しました。さらに、今後、長崎駅周辺の開発によりまち中心部にぎわいがなくなる可能性もあることから、市全体が活性化化するような提案、提言を要望しました。

最後に、長崎駅周辺整備に関する情報は様々な形で周知するとともに、情報発信の在り方についても再度検討するよう要望しました。



▲JR長崎駅の現地調査

ポストコロナ経済対策 特別委員会



◎限られた財源の中でポストコロナ社会に向けた対策を講じることを要望
ポストコロナ社会を見据えた本市経済を回復・発展させるための諸方策について調査を行いました。

主な結果として、本市で実施してきた事業持続化支援金や中小事業者等一時金などは、財源の多くを国の支援に頼っているため、積極的に国と情報交換を行いつつ、交付金の拡充を県や国に対して求め、これまでの支援策の効果や支援不足についての分析を進めながら、引き続き経済対策に取り組むよう要望しました。併せて、分かりやすい制度の内容や申請方法の周知など、支援が必要な方に速やかに行き渡るよう工夫しながら取り組むよう要望しました。

次に、クルーズ船のメンテナンス事業について、国や関係機関との継続的な協議を行い、クルーズ船の寄港再開による市内での消費拡大対策について庁内で協議するよう要望しました。また、第一次産業については、農業者、漁業者とノウハウの継承や生産性の安定、向上に向けた事業を進めるよう要望しました。



▲委員会室での調査

ポストコロナ交流人口 拡大対策特別委員会



◎ポストコロナを見据えた交流人口の拡大に取り組むことを要望
出島メッセ長崎と長崎のもぎき恐竜パークの開園を契機とした観光推進の取組や既存の観光資源の活用などによる交流人口拡大の諸方策について調査を行いました。

主な結果として、ホテルや飲食店、観光施設の事業者等が希望を持てるよう、具体的な目標を定めた戦略のもと、官民連携し、交流人口の拡大に向けて取り組むよう要望しました。

また、世界新三大夜景に再認定された夜景を生かし、さらなる夜型観光商品の創出や、地域固有の観光資源を生かした朝型観光を推進するなど、観光客の滞在時間を延ばして、消費の拡大に取り組むよう要望しました。

なお、観光地を周遊・移動する交通アクセスについては、改善と充実に取り組み、恐竜博物館においては、空港や駅から施設まで、ストーリー性を持った案内や広報を行うことで観光客の新規開拓とリピーターの獲得につなげるよう要望しました。

最後に、主要観光施設の所管部局においては、専門的な知識を持ち、施設の現状と課題を把握できる職員の育成と組織体制の強化に取り組むよう要望しました。



▲出島メッセ長崎の現地調査

概要

一般質問

特別委員会
からの報告

議決結果

2月定例会
審査の主な内容

人事、請願等

各委員会の構成等